

がん患者、若い世代で女性が男性より多い! 30代では約2.6倍。その理由は?



全年齢を合わせると、がんによる死亡数は男性が女性の約1.5倍。

(2011年:国立がん研究センター)

しかし、54歳までのがん患者の数は女性の方が多いです。30代に限れば女性のがん患者の数は男性の約2.6倍にも上ります。この理由は女性の「二大がん」である乳がんと子宮頸がんが若い世代に多いためです。乳がんは40代、子宮頸がんは30代が発症のピークで20代にも急増しています。女性は定期的ながん検診を受けるなど、若い世代からがんに備えることが大切です。

大阪市が実施する がん検診

がん検診は各区保健福祉センターや市内取扱医療機関で実施しています。詳しくは、大阪市ホームページ「各種健診の一覧」をご覧ください。各区保健福祉センター又は、大阪市がん検診専用電話(06-6208-8250・平日9時~17時)までお問い合わせください。



大阪市ホームページ「各種健診の一覧」

子宮頸がん検診

検査方法: 子宮頸部細胞診検査

対象: 20歳以上の女性*

受診間隔: 2年に1回

費用: 400円

(医療機関のみで実施)



*昭和奇数年生まれ・平成偶数年生まれもしくは前年度未受診

乳がん検診

検査方法: 超音波検査

対象: 30~39歳の女性

受診間隔: 年度中に1回

費用: 1,000円

(医療機関のみで実施)

検査方法: マンモグラフィ検査

対象: 40歳以上の女性*

受診間隔: 2年に1回

費用: 1,500円

*昭和奇数年生まれもしくは前年度未受診



胃がん検診

検査方法: 胃部エックス線検査

対象: 40歳以上の男女

受診間隔: 年度中に1回

費用: 保健福祉センター 500円

医療機関 1,500円



大腸がん検診

検査方法: 免疫便潜血検査

対象: 40歳以上の男女

受診間隔: 年度中に1回

費用: 300円



肺がん検診

検査方法: 胸部エックス線検査

喀痰細胞診検査(ハイリスクの方)

対象: 40歳以上の男女

受診間隔: 年度中に1回

費用: 無料(喀痰検査400円)



検査方法: 胃管内視鏡検査

対象: 50歳以上の男女

受診間隔: 2年に1回

費用: 1,500円

(医療機関のみで実施)



大阪市のがん検診の受診要件

大阪市では次の5項目のいずれにも該当しない大阪市民の方を対象にがん検診を実施しております。

- 1.ご加入の医療保険や会社等が同等の検診を実施している場合(ご加入の健康保険組合等にお問い合わせください)
- 2.年度中に同等の検査を会社の健診や病院等で受けられた場合
- 3.検診部位を病気で治療中の場合 (引き続き治療を継続してください)
- 4.過去に検診部位の病気をしたことがある場合 (検診に適さない場合がありますので医師にご相談ください)
- 5.自覚症状がある場合 (すみやかに医療による詳しい診察・検査等を受けてください)

*具体的な内容は各団体まで、連絡先の記載がない団体は大阪市健康局健康推進部健康づくり課(06-6208-9961)までお問い合わせください。